

子どもたちに笑顔届ける

美深高等養護学校農業科3年生

町幼児センターで花壇整備

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）農業科3年生による花壇の整備作業が、13日午前10時から認定こども園美深町幼児センター（井川健センター長）で行われ、同センターの花壇を美しい花で飾った。

子どもたちに笑顔届けようと、真ん中の花壇を輝かせるため、両側の花壇にはペゴニアのみの単色の花壇を。中央の花壇は3種の花を配置して笑顔を表現したい」と説明。

町文化会館COMIOの3年生が美深高校（生徒同士の交流）で花壇やプランターへの定植作業を実施。美深小学校への花苗の納入も今年初めて行った。同センターでの花壇整備は、今季最後の定植作業で3年生6人が参加。この日を前に、どこにどの花を植える

この日は小雨にも見舞われたが、生徒たちは教諭にサポートしてもらいながら手際よく花苗を定植。咲き終えた花を摘み取ったり、ほうきで花壇の淵をきれいに掃いたりする姿も見られ、美しい花壇を完成させた。

美深町から依頼を受け、丹精込めて栽培した花を植える実習活動の一環。今年は農業科

ベゴニア、マリゴ、ペチュニアの花苗256株を用意。同センターの正面と裏にある花壇に分かれて作業した。このうち園庭に面するセンター裏では、花壇が三つ横並びで配置されている。作業に当たった生徒は「花壇のテーマは『スマイル』」。

（問所）



町幼児センターで花壇整備に汗を流した生徒たち